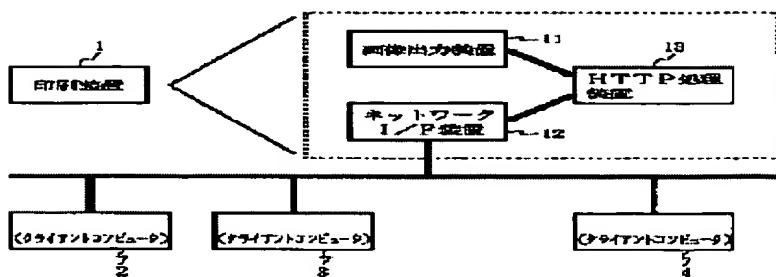


MicroPatent® Worldwide PatSearch: Record 1 of 1



JP11316658
PRINTER
RICOH CO LTD
Inventor(s): MITSUI KENJIRO
Application No. 10137684 , Filed 19980502 , Published 19991116

Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a printer with which various settings of printing and network protocols are standardized and installation of a printer driver in each computer is not required.

SOLUTION: A printer 1 provides a network address and a URL for HTTP from a network interface device 12 and an HTTP processor 13, identifies them from computers 2, 3 and 4 through a WWW browser of a client or the like when connected to a network and controls them. This browser can display the HTML and is not limited to Mosaic or Netscape. Since the computers 2, 3 and 4 control the printer 1 through the WWW browser any type of HTTP can be controlled in so far as it is controlled by the HTTP processor 13 independently of the type of its own computer or so to be used.

Int'l Class: G06F00312 B41J02938 H04N00100

MicroPatent Reference Number: 000657942

COPYRIGHT: (C) 1999 JPO

⑫ 公開特許公報 (A)

平1-136658

⑤Int.Cl.⁴
A 61 H 15/00識別記号
310府内整理番号
H-7242-4C

④公開 平成1年(1989)5月29日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

④発明の名称 健康器

②特願 昭62-296365

②出願 昭62(1987)11月25日

②発明者 高村 大五 福島県いわき市小名浜上神白字館下73

②出願人 高村 大五 福島県いわき市小名浜上神白字館下73

②代理人 弁理士 和田 肇

明細書

1. 発明の名称 健康器

2. 特許請求の範囲

(1) 適当な巾および長さを有するスロープ板体の表面のほど全面に適当な大きさの多数のポールを回転自在に散設して成る滑りベッドを備えたマッサージ器本体をシーソ状に運動させるべく振動自在に支持させて配設し、上記マッサージ器本体を駆動手段でシーソ運動させることにより、人体を上記滑りベッド上で往復滑り移動させるように構成したことを特徴とする健康器。

3. 発明の詳細な説明

<発明の背景>

本発明は、一般的には指圧作用とマッサージ作用により血液の循環を促進する健康器、さらに詳しくは、自己の体重を利用して身体を自動的に指圧、マッサージする健康器、さらに一層詳しくは、人体を仰向、横臥、腹臥等、任意の姿勢で滑りベッドを滑らせながら往復移動させることにより、この滑りベッド上の人体の体重を利用して、自分

の身体を自動的に指圧、マッサージする健康器に関するものである。

従来、各種の自動指圧器やマッサージ器が開発されている。しかしながら、これら従来品は、いずれも身体の一部を部分的に指圧、マッサージするよう構成したもので、身体を全体的に指圧、マッサージし得るものは未だ開発されてない。また、従来品は、いずれも押圧体等を振動させる等により、この押圧体等の振動等の運動を身体に伝達して指圧、マッサージするよう構成したもので、自己の体重を利用して指圧、マッサージし得るものは未だ開発されてない。

<発明の目的>

本発明は上記のような点に着目して発明したものであって、本発明の目的の1つは、自己の体重を利用して身体を自動的に指圧、マッサージし得る斬新的な健康器を提供するにある。

本発明の目的の他の1つは、自己の体重を利用して身体を全体的に指圧、マッサージし得る健康器を提供するにある。

本発明の目的の他の1つは、人体の逆立ち効果による健康促進も兼ね備えた健康器を提供するにある。

<発明の構成>

上記の目的を達成するための本発明の構成を、実施例と対応するオノ図～オム図を用いて説明すると、本発明は、適当な巾および長さを有するスロープ板体5の表面のはゞ全面に、適当な大きさの多数のポール6を回転自在に散設して成る滑りベッド4を備えたマッサージ器本体3をシーソ状に運動させるべく振動自在に支持させて配設し、マッサージ器本体3を駆動手段でシーソ運動させることにより、人体aを滑りベッド4上で往復滑り移動させるように構成したことを特徴とするものである。

<発明の作用>

上記のように構成した本発明は次のように作用する。マッサージ器本体3は駆動手段により所定の速度（この速度は調整可能）でシーソ状に運動する。そこで、マッサージ器本体3を水平状態で

停止させ、指圧、マッサージを受けようとする者が滑りベッド4上に所望の姿勢、たとえば、オム図のよう、仰向の姿勢で横になる。この状態で駆動手段を始動するとマッサージ器本体3は水平状態から、たとえばオム図において右下に傾き始めるので、滑りベッド上の人体aは同図右方向に滑るように作用を受ける。そしてベッド4の傾斜角度が大きくなると、人体aはポール6との接触摩擦によりポール6をペアリングのように回転させながらオム図のよう右方向へ滑り降りるが、この滑り運動中において、人体aの体重はスロープ板体5のはゞ全面に散在してあるポール6に掛けられているため、身体のポール6との接觸部側は至る所を限なく、しごかれて指圧、マッサージされる。これにより、血液の循環を促進されることになる。次いで、マッサージ器本体3はオム図のよう適当角度に傾斜（この傾斜角度は調整可能）して一旦停止した後、上記と逆の方向（オム図において左下方向）へ傾き始める。そして、マッサージ器本体3が水平状態を通過す

- 3 -

ると、ベッド4上の人体aはオム図左方向に滑るように作用を受け、ベッド4の傾斜角度が大きくなると、上記と同様にポール6を回転させ、身体の至る所を限なく、しごかれて、指圧、マッサージをされながらオム図のよう左方向へ滑り降りる。そして、オム図のよう人体aの頭部が下向きになる方向へ滑り降りると、この課程において、人体は逆立ち効果の作用を兼ね受けことになる。

このように、マッサージ器本体3をシーソ状に繰返り運動させることにより、ベッド4上の人体はその者自身の体重を利用して、身体の至る所を意のまゝ自由に限なく、しごかれて指圧、マッサージされる。

<実施例>

以下、図面を参照して本発明の実施例について説明する。オノ図～オム図は本発明の1実施例を示す健康器である。これらの図において、1は取付ベースで、ベース1の中央部における両側（オノ図において前後側）には適当な高さの軸受体2、

- 4 -

2が相対して立設されている。

3はマッサージ器本体を示し、マッサージ器本体3は適当な巾および長さを有するスロープ板体5の表面のはゞ全面に適当な大きさの多数のポール6を回転自在に散設して成る滑りベッド4を備えて成るもので、実施例の本体3は、金属製の角パイプ材等で造った長方形の枠体7にスロープ板体5の長手方向の両端をロープ等8で結着固定して成っている。スロープ板体5の素材は特に限定されるものではないが、潤滑性が良く、かつ、適当の可撓性を備えた強靭なポリプロピレンやアクリルその他のプラスチック材が適している。但し、この材質は限定されるものでないことを上述したとおりである。

スロープ板体5の巾および長さは任意に定められるものであるが、実施例では、約70cm（巾）×約4m（長）のものを採用してある。また、ポール6は身体の至る所に当るようにスロープ板体5のはゞ全面に適当に配分させて散設するもので、実施例では直径約15mmのステンレスやプラスチ

フス製のポール 6 を約 2,200 個配設してある。そして、各ポール 6 は回転自在に配設するもので、実施例では次のように構成してある。即ち、オフ図に詳細に示すように、スロープ板体 5 にポール 6 の数に対応する多数の孔 9 を開設すると共に各孔 9 の下部における縁部にリング板状の受座 10 を接着等で固着してある。11はポール 6 の径に対応させると共にポール 6 を半分より若干多く回転自在に嵌合させ、かつ、嵌合したポール 6 が脱抜しないように形成した半球状のポール嵌合孔 12 を有し、嵌合孔 12 の周縁には環状フランジ 13 を突設して成るポール受体で、スロープ板体 5 の各孔 9 にはフランジ 13 を受座 10 で支承させてポール受け体 11 を嵌合配設し、接着等によりフランジ 13 を受座 10 に固着してある。14はポール受け体 11 の嵌合孔 12 内の底部に回転自在に設けた小径のポールで、嵌合孔 12 内に嵌合したポール 6 は下端は上記小径のポール 14 に接触させるように構成してある。これによりポール 6 は一層円滑に回転するようになる。

- 7 -

も良く、このように構成すると、不使用時にはコンパクトに保管することができる。

実施例のマッサージ器本体 3 は上記のように構成され、これをシーソ状に運動させるべく振動自在に支持させて配設するもので、実施例では、オフ図に示すように、マッサージ器本体 3 の枠体 7 の中心部の下部両側に取付体 19, 19 を対称的に固定し、この取付体 19 を介して枠体 7 をベース 1 の軸受体 2, 2 に枢軸 20 で回転自在に軸支させて適当な高さに配設してある。これにより、マッサージ器本体 3 は軸 20 を支点としてシーソ状に振動自在になっている。

また、マッサージ器本体 3 は、駆動手段でシーソ運動させるように構成するもので、実施例では次のように構成されている。即ち、21はベース 1 上の中心部に配設され、モータによりドラムを正逆回転するように構成した巻取・繰出機、22a, 22b は一端を枠体 7 の両端側下部に接続したワイヤーロープ等のロープで、ロープ 22a, 22b の他端側は案内ローラー 23, 23 等を介して巻取・繰出

実施例のように構成すると、ポール 6 の回転性が良いと共に製造作業性も良くなるが、実施例以外の任意の構成によりポール 6 を回転自在に配設しても良いものである。

15は枠体 7 の上面における長手方向の両端両側部に相対して立設した取付杆、16は相対設した取付杆 15, 15 間に架構してマッサージ器本体 3 の長手方向の両端に配設した安全規制体で、該安全規制体 16 はベッド 4 を滑り降る人体の頭部および足部を安全に受け止めて動きを規制するもので、実施例の安全規制体 16 はオフ図に詳細に示すように、適当な大きさのクッション 17 の両側にロープ 18 を取付け、このロープ 18 を取付杆 15, 15 に結着して装着するように構成してある。この場合、安全規制体 16 は、たとえばネット等で構成しても良く、要は人体が衝当するのを安全に受け止めて、それ以上の動きを規制し得るように構成すれば良いものである。

なお、実施例の図面には開示していないが、所望に応じ、枠体 7 を適當部から折曲可能に構成して

- 8 -

機 21 のドラムに適当に、かつ、対称的に巻回して端部を固定してある。これによりドラムを回転すると、一方のロープ 22a (又は 22b) はドラムに巻き取られ、他方のロープ 22b (又は 22a) はドラムから繰出されるので、ドラムを正逆回転することにより、マッサージ器本体 3 はシーソ運動することになる。而して、上記巻取・繰出機 21 の始動と停止は図示しないスイッチで使用者自身が手動で行ない、また、シーソタイミングは自動切替えスイッチとリミットスイッチ又は接近スイッチ等により自動的に行なうように構成してある。

また、マッサージ器本体 3 のシーソ運動の速度および傾斜する角度は調整器 (図示せず) 等により自由に調整できるように構成されている。

実施例の健康器は上記のように構成したもので、次にその使用方法および作用等につき説明する。マッサージ器本体 3 を水平状態にして静止させ、指圧、マッサージを受けようとする者が滑りベッド 4 上に、所望の姿勢、たとえば、オフ図 (b) に示すように仰向の姿勢で横になる。この際、所望に

応じて、人体の頭部の下部には適当な枕を敷き、あるいは防災ズキンのようなものを頭部に装着して頭部を保護する。そして、始動スイッチを入れると、マッサージ器本体3は水平状態から、たとえば図において右下に傾き始めるので、滑りベッド4上の人体は同図右方向へ滑べろうとする。そして、ベッド4の傾斜角度が大きくなると、人体はポール6を回転させながら図のように右方向へ滑り降りて足部が安全規制体16に当たり、安全に受け止められるが、人体の体重はスロープ板体5のほど全面に散在してあるポール6に掛けられてあるため、上記滑り降り中、身体のポール6との接触部側(図示では背面側)は至る所を限なく、しごかれて指圧、マッサージを施される。次いで、マッサージ器本体3は図のように設定角度に傾斜すると、スイッチが働いて一旦停止すると共に、切替スイッチが作用して巻取・繰出機21のドラムを上記と逆方向に回転させる。したがって、マッサージ器本体3は上記と逆の方向(図において左下方向)へ傾

き始める。そして、マッサージ器本体3が水平状態を通過すると、ベッド4上の人体は図左方向に滑べるように作用を受け、ベッド4の傾斜角度が大きくなると、上記と同様にポール6を回転させ、身体の至る所を限なく、しごかれて、指圧、マッサージを施されながら図のように左方向へ滑り降り、人体の頭部が安全規制体16に当たり、安全に受け止められて、それ以上の動きを規制される。次いで、マッサージ器本体3が図のように設定角度に傾斜すると、スイッチが働いて一旦停止し、ドラムを上記と逆方向に回転し、この動作を繰返し行なう。そして、図のように、人体の頭部が下向になる方向へ滑り降りると、この課程において、血液は頭部に多く流れ、人体は逆立ち効果の作用を兼ね受けることになる。また、上記の状態から姿勢を変え(横臥や腹這い等)ることにより、指圧、マッサージを施される部位を任意に変えることができる。

このように、マッサージ器本体3をシーソ状に繰返し運動させることにより、ベッド4上の人体

はその者自身の体重を利用して、身体の至る所を意のままに限なく、しごかれて指圧、マッサージを施される。

オク図は本発明の別実施例を示すものである。説明を簡単にするため、上記実施例と同様に作用する部分には上記実施例の図面と同一符号を付して詳細な説明を省略する。本実施例はマッサージ器本体3をシーソ状に運動させる駆動手段を変形させたものである。即ち、本実施例では、マッサージ器本体3の中心部の下部両側に固設し、枢軸20で軸受体2、2に回転自在に軸支させた取付体19(一方又は両方)に大径、かつ半円状のギア24を、歯部を下向きにして固設し、軸受体2(一方又は両方)には上記ギア24より小径のギア25を回転自在かつ、上記大径ギア24と噛合させて配設してある。26はギア25に固設したブーリー、27は取付ベース1上に配設したギアドモータ等のモータ、28はモータ27の出力軸に固定軸装して上記ブーリー26と相対設したブーリー、29は両ブーリー26、28間にエンドレスに掛渡したベルトで、モータ27

を正逆回転することにより、ブーリー28、ベルト29を介してブーリー26を正逆回転し、このブーリー26の回転運動を大径ギア24に伝達して該ギア24を正逆方向へ回転させることによりマッサージ器本体3をシーソ状に運動させるように構成してある。他の構成は上述した実施例と全く同様である。

なお、マッサージ器本体3をシーソ状に運動させる駆動手段としては、図示のものに限定されるものではなく、たとえば、クランク機構やピストン伸縮型のモータ、或いはシリンド等、他の任意の機構のものを適宜選択して採用できるもので、要はマッサージ器本体3をシーソ状に運動させるように構成すれば良いものである。

<発明の効果>

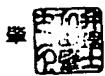
本発明によれば次のような主たる効果を期待することができる。

(1)マッサージ器本体をシーソ状に運動させることにより、滑りベッド上の人体は、その者の体重を利用して、身体を全般的、かつ、自動的に、しごかれて指圧、マッサージを行なうことができる。

…ブーリー、27 …… モータ、29 …… ベルト。

特許出願人 高村大五

代理人弁理士 和田



(回)自己の体重を利用して、身体の至る所を意のまま自由に股なく、しごかせて自動的に指圧、マッサージを施すことができる。

(往)滑りベッド上を滑り降りる課程中において、頭部が下向になる方向へ滑り降りる際には、人体に逆立ち効果の作用を施すことができる。

4. 図面の簡単な説明

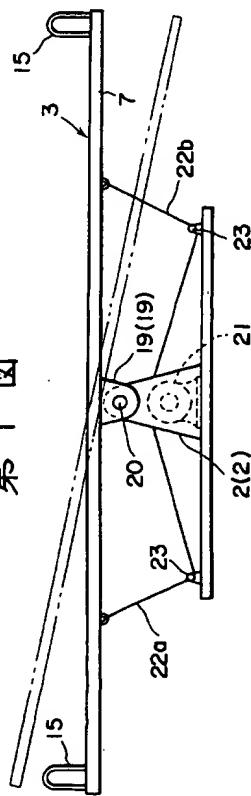
オ1図は本発明に係る健康器の1実施例を示す正面図、オ2図は同平面図、オ3図はマッサージ器本体の斜視図、オ4図は安全規制体を示す斜視図、オ5図は滑りベッドの一部を拡大して示す縦断面図、オ6図(1)～(4)は使用状態を示す説明図、オ7図は本発明の実施例を示す正面図である。

1 …… 取付ベース、2 …… 軸受体、3 …… マッサージ器本体、4 …… 滑りベッド、5 …… スロープ板体、6 …… ボール、7 …… 棒体、15 …… 取付杆、16 …… 安全規制体、19 …… 取付体、21 …… 卷取・繰出機、22a, 22b …… ロープ、24 …… 大径のギア、25 …… 小径のギア、26, 28 ……

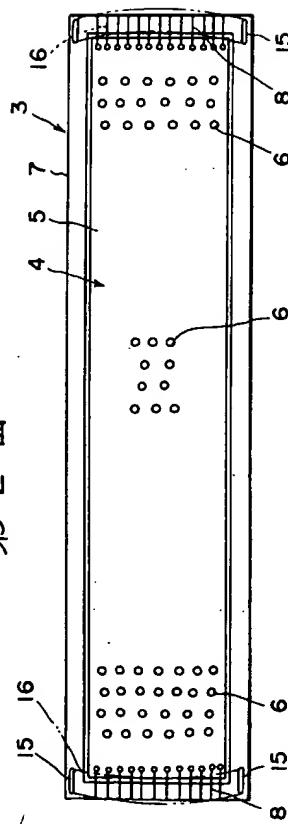
- 15 -

図面の序書 (内容に変更なし)

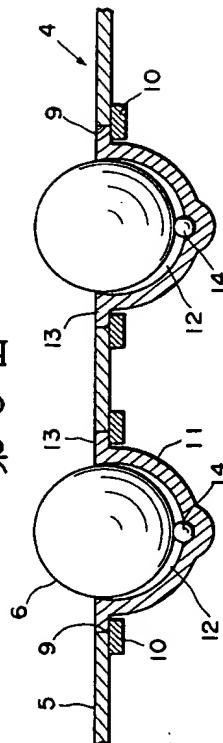
第1図



第2図

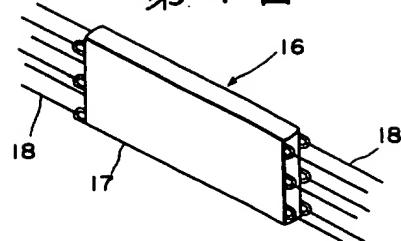


第5図

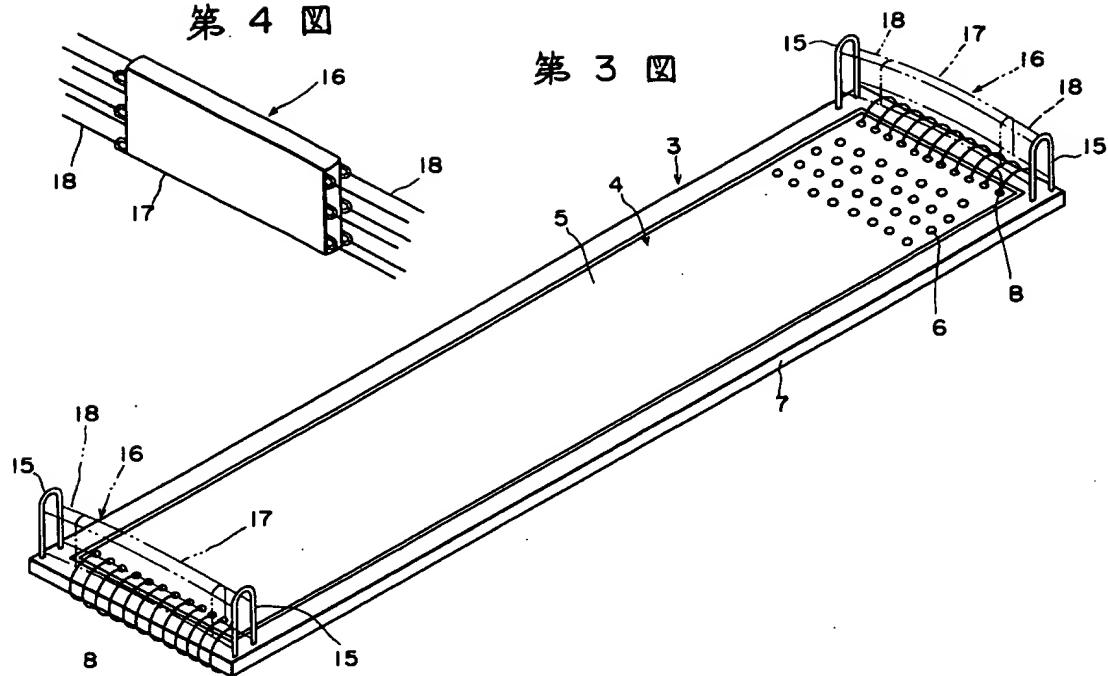


- 16 -

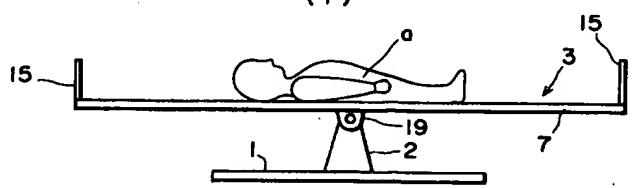
第4図



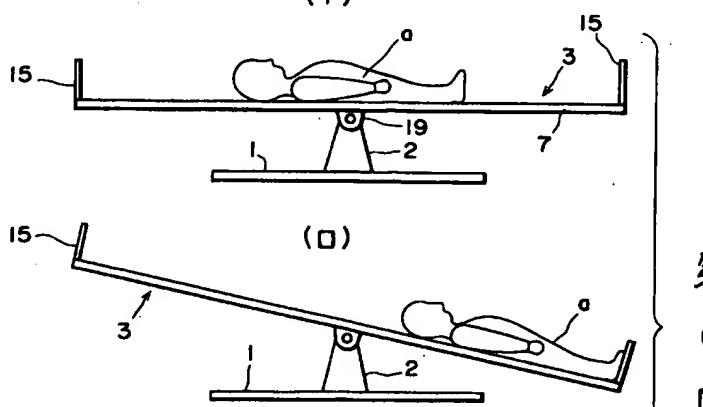
第3図



(1)

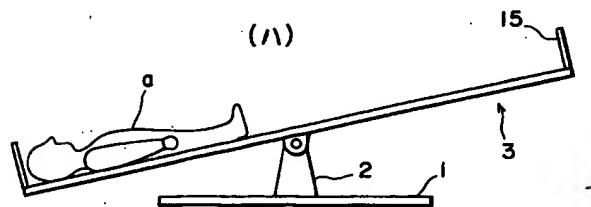


(2)

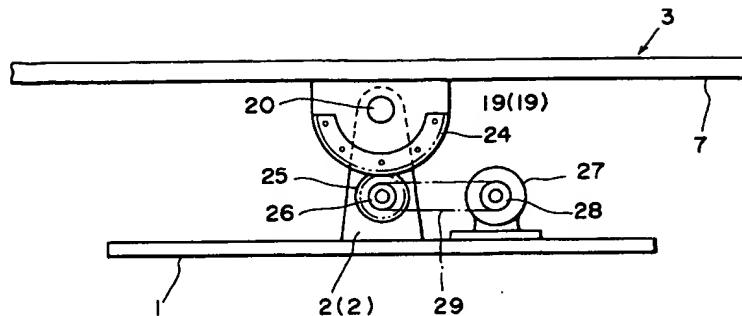


第6図

(3)



第7図



手続補正書（自発）

昭和62年12月21日

特許庁長官 小川邦夫殿



5.補正の対象

図面

6.補正の内容

図面の净書（内容に変更なし）

1.事件の表示

特願昭62-296365号

2.発明の名称

健康器

3.補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 福島県いわき市小名浜上神白字館下73

氏名 高村大五

4.代理人

住所 東京都墨田区錦糸2-10-7 番ビル201

氏名(6807)弁理士 和田 勇
証 624-7880